

令和元年度6月教育委員会 会議録

開催日時	令和元年6月18日(火) 13:30~16:00	
開催場所	早島町立早島中学校 会議室	
出席者	委員	徳山順子教育長、綾野克紀委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 授業等について意見交換 (2) 早島町立早島幼稚園給食提供について (3) インターネット環境等のアンケート調査結果について (4) その他 3 連絡	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：本日は、5校時の授業を参観していただき、忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。新任の教諭や講師もいますので、ぜひ顔や名前を覚えていただけたらと思います。1時間という短い時間ですが、全教室を参観いただき、お気付きのことがあればあとで意見交換させていただきます。メモをとりながら参観をお願いいたします。</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 授業についての意見交換</p> <p>栗坂委員：3年生は落ち着いて学習をしていた。学習の導入では、切り替えし発問をしながら前時のことをふりかえることで、生徒を授業に引きつけており、雰囲気良かった。また、「先生～しましょう。」と生徒が丁寧な言葉遣いで話ができているクラスがあり良かった。</p>
--

2年生は、めあてに、学習活動を書いているクラスがあり、この時間にどんな力を付けたいのかが明確に伝わってこなかった。1時間に付けたい力を明確にしためあてが必要だ。また、別のクラスでは教科書を閉じている生徒が半数近くいたため、学習規律の徹底が必要と感じた。個々の生徒の学習の様子をしっかり見てほしいと思う。理科は、実験の安全性が第一である。実験の目的を明確にして、すべてのグループが同じ方向性で実験を進めたほうがよい。

1年生は、非常に落ち着いた雰囲気のあるクラスと、落ち着きのないクラスとがあった。生徒とのやり取りが上手な先生は、子どもたちに考えるヒントを与えながら考えを深めさせていたので、それがよかった。特別支援学級は、先生の表情や声のトーンが穏やかで生徒が安心して授業を受けている様子が分かった。笑顔や落ち着いた声のトーンはとても大切だと思う。

竹井委員：黒板と電子黒板の使い分けはどうなっているのか。

校長：学習の足跡として残すものは黒板に書き、変わってよいものは電子黒板に提示している。

竹井委員：電子黒板は、文字が小さく一番後ろからは見えにくかった。

落ち着いた雰囲気のあるクラスもあったが、騒がしいクラスもあった。初任や若手の先生は、子どもを引きつける話術が不足している。教師の方を向かせる工夫が必要である。友だちのような会話が聞かれたが、教師と生徒の関係性を明確にした方がよい。

教育長：教師と生徒の適切な距離感は大変重要であり、徹底したい。入試面接の練習で敬語を使うのではなく、平素から教員への敬語を使えるようにしたいし、教員も、きれいな言葉遣いで生徒に接していただきたい。きれいな言葉の教室環境は心が和らぎ、落ち着いた雰囲気や、やる気をもたらし出す。

綾野委員：どの先生も一生懸命されていたが、理科の実験は非常に危ないと感じた。薬品の免許を持っているのか。

校長：理科の免許はあるが、薬品の免許は持っていないと思う。

教育長：規律が徹底しないと非常に危険である。理科の授業では、生徒の安全面が徹底できていないように思える。また、『めあて』が正しい日本語で書かれていないことが気になった。授業はパブリックな場所であり、教員は正しい日本語を使ってほしい。実験はしているが、集中せずに私語をしている生徒が多かったのも気になった。実験・観察への楽しさを生徒が共有していないように見える。何か事故が起きるのではないかと危惧するような授業では心配である。危機管理を徹底してほしい。

教育長：金工室に行ったらパソコン室で授業をしていた。学習場所に変更があれば事前に伝えるべきであろう。また、「使ったやつ」「何とかしっさい。」と言葉遣いが気になる教員がいた。いつも生徒はこうした日本語を授業で聴いているのか

と思うと残念である。教室の前に立っていても、指導案ばかりを見て、うつむいて授業をしている教員がいた。前もって教材研究に取り組み、生徒の姿やつぶやきを視野に入れた授業ができるとよい。

黒板の字が汚く、小さい、句読点の丸がつぶれていたが、国語の教師として文字を丁寧に書いてほしい。生徒の名前を呼び捨てにしていたのも気になった。人権の視点に留意して、特定の生徒だけを呼び捨てにするようなことはあってはいけない。体育は体育館の窓を閉め切っていたが、体力テストで非常に暑かったので、空気換気をしてほしい。体育館指導では、もっと生徒全体を見て授業をしてほしい。また、ポケットに手を突っ込んだまま、生徒に話しかけるのは失礼であり、言葉遣いを丁寧に、生徒の人権を大切にしてほしい。

3年生は全体的に落ち着いていた。授業中のクラスに一步入ると、しっとりとした雰囲気があるクラスは、気持ちが落ち着くし、生徒自身も授業に本気で取り組んでいるように思う。

学校全体で、まだ授業のめあてを明記せずに授業をしているクラスがいくつかあり、岡山型スタンダードの徹底と、『振り返り』の工夫をお願いしたい。

綾野委員：英語の発音がとてもきれいで、落ち着いた授業をしている先生がいてよかった。ALTとティーム・ティーチングをしている様子に、今の生徒がうらやましいと感じた。

教育長：明日は、県教委の学校訪問がある。今日いただいたアドバイスを校長から教員に伝えてもらい、早速明日から活かしていきたい。授業についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(2) 早島町立早島幼稚園給食提供について

教育長：幼稚園の給食については、7月16日から4日間の給食試行を行う。食器での配膳をしてみて課題を出してみたい。年長さんは給食当番を決めて配膳していきたい。給食費の保護者負担は月額2000円の予定である。今年度は4・5歳児を対象に給食を進める。近隣の婦人会や老人会などの地域の方で、幼稚園にお越しいただき、給食の配膳をお手伝いいただいたあと、一緒に無料で給食を食べさせていただくことも検討している。給食が園児と地域の方との交流の場となればと思う。幼稚園給食の試行についてこれでよいか。

全委員：了承した。

教育長：預かり保育については、現在2名の支援員を配置し、3歳児の2名の支援員が14時からサポートすることにしており、4名で対応している。

預かり保育の保護者は、いかしの舎の駐車場を利用していたが7月から使用ができなくなる。現在、6台を確保しているが、6台では足りないとの声もあり、近隣の駐車場を探しているところである。

竹井委員：他市町の幼稚園には、駐車場がまったくない幼稚園もある。ゆるびの舎に車をおいて歩いていけばよいのでは。時間も早めに出てくればよいのではないか。

教育長： 小学校になって歩いて登校するのがしんどいという声も時々聞く。保護者と園児との徒歩通園を奨励しているところである。自宅の遠い方は、ゆるびの舎に駐車していただき、歩いて来ていただくことを勧めている。小さい頃に歩くことは健康によいことであり、自然を見ながらの親子の会話や交通安全について語り合いながら通園していただければと思う。ただ預かり保育をされる方は、勤務があり、急がれているであろうし、近隣に駐車場の確保は必要だと思うので、あと3台ほど増加する方向で探している状況である。ご迷惑をおかけしているが、皆さんのご協力をいただき感謝している。

(3) インターネットの環境等のアンケート結果について

課長： 小・中学校にインターネット環境についての調査を行った。町全体では、約8割はインターネット機器が自宅にある。しかし、印刷するためのプリンターは、小学校で4割、中学校で3割のご家庭でないことが分かった。

教育長： これまでも、学校や教育委員会で、自由に印刷できる場所を確保しており、土日や夕方に、教育委員会に多くの方が印刷に来られている。活用していただき、ありがたい。

綾野委員： 必要性を感じないから我が家にもプリンターはない。最近はコンビニでも印刷ができる。プリンターのランニングコストが高い。

教育長： 4割のご家庭でプリンターがないことなので、カルテックを導入していても、プリンターがないのでは、使いづらいと感じるだろう。全家庭に環境を整備するようお願いすることは難しい。読解力問題も単元別問題も印刷しないと解きづらいので、冊子にして渡した方が良いのかも知れない。

竹井委員： ネットで学習しても、提出は紙媒体であれば、無理があるのでは。

教育長： インターネットの普及に伴いカルテックを導入したが、印刷できる環境がこれだけないということが分かり、今後はカルテックの活用自体も見直す必要があるかもしれない。ネット環境を学校にも整えて、各自が学校で自由に、自主学習のできるような学習環境を整えていく必要性を感じている。7月には、カルテックの説明会も行う予定である。インターネットの環境についてはよいか。

全委員： 了承した。

(4) その他

- ・教職員の研修予定について
- ・学校教育ビジョンの具現化に向けて
- ・教員採用試験

3 連絡

- ・ 7月教育委員会 7月17日（水）16時～17時 ゆるびの舎（2階 集会室）
（13時30分～15時30分 県教育委員会議、倉敷健康福祉プラザ）